

大雨・洪水に関する注意報・警報について

気象庁から、下記のような場合に「注意報」「警報」が発表されます。さらに、警報の発表基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼び掛けます。「注意報」「警報」「特別警報」は関係行政機関、都道府県や市町村へ伝達され防災活動等に利用されるほか、市町村や報道機関を通じて地域住民のみなさんへ伝えられます。

大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	大雨特別警報
災害が発生するおそれがある	重大な災害が発生するおそれがある	「警報」よりもはるかに高い危険度
大雨 大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。 洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 大雨により、重大な浸水災害や重大な土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。 洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨になると予想したときに発表。 <small>「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。</small>

「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります

- 大雨などのときには、テレビやラジオなどで最新の注意報・警報・特別警報の発表状況を確認するようにしましょう。また、NTTテレホンサービス「177」や気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/>) でも確認できます。
- 淡路市に注意報・警報が発表される際の雨量基準値などについては、気象庁ホームページで知ることができます。

避難情報入手して早めの行動を

避難情報は、災害の状況に応じて3段階に分けて発令します。どの情報かを確認し、適切な行動をとってください。

警戒レベル	状況	避難行動等	避難情報等
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 ^{※1} 市が発令
..... 警戒レベル4までに必ず避難!			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 市が発令
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ^{※2}	高齢者等避難 市が発令
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 気象庁が発表
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 気象庁が発表

※1 災害の状況を実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

●情報伝達の流れ

